

**令和 5 年度
中国四国農政局技術検討会（第 4 回）
（国営事業 事後評価）**

議 事 録

（事務局）

それでは定刻になりましたので、ただ今から令和 5 年度中国四国農政局技術検討会（再評価・事後評価）を開催します。中国四国農政局土地改良管理課川嶋です。よろしくお願いします。

本技術検討会は原則公開としており、5 月 25 日にプレスリリースをしたところです。本日は、傍聴の方及び報道関係者の申し込みはありませんでした。

本日は 6 月 5 日及び 6 月 8 日に開催いたしました技術検討会を踏まえ、評価書案等について検討を行い、技術検討会の意見をいただくことを予定しております。

開催にあたりまして、中国四国農政局事業管理委員会委員長の都築農村振興部長より挨拶申し上げます。

（都築農村振興部長）

— 都築農村振興部長挨拶 —

（事務局）

— 技術検討会委員の紹介 —

本日は 4 名の委員にご出席をいただいております。技術検討会規則の成立条件を満たしていることをご報告いたします。また、本日出席しております当局の委員等につきましては、配布資料にあります出席者名簿及び配席表をもって紹介に代えさせていただきます。

本日の議事進行は、諸泉委員長が欠席のため、技術検討会規則に則り、あらかじめ委員長代理を河口委員にお願いしてございますので、本日は河口委員に進行をお願いいたしまして、事務局の方から議事次第に沿って説明を行った後、委員の皆様からご審議等をいただきます。

その後、技術検討会の意見を取りまとめていただき、技術検討会の意見としてご提示いただくこととなります。評価書（案）にそれらを記載しまして、7 月末に本省へ報告していくこととなります。それでは、ここから委員長代理の河口委員に議事進行をお願いいたします。

（河口委員長代理）

河口です。では進めていきたいと思います。私はオンラインで参加しているので、そちらで聞き取りにくかったりすれば、挙手などしていただければと思います。

それでは、議事次第 3『令和 5 年度国営土地改良事業「斐伊川沿岸地区」事後評価書（案）』について、事務局より説明をお願いします。

（事務局）

土地改良管理課川嶋から、斐伊川沿岸地区事後評価書（案）についてご説明いたします。

～資料説明～

(河口委員長代理)

はい、ご説明ありがとうございました。今のご説明について、ご質問、ご意見等ございませんか。

私から一つ。ホタルは奈良県から購入しているのか。

(事務局)

そのように聞いています。

(河口委員長代理)

島根県では、ゴビウスという淡水魚の研究などしているところがあり、その専門家と一緒に取組みましょうということを持ち掛けることはできないか。

(都築農村振興部長)

(ゴビウスは)本地区とも近く、河口委員よりご指摘いただいたとおり連携して、遠くから持ち込むことはしないよう関係土地改良区等に指導していきたい。

(河口委員長代理)

ぜひよろしく願いたい。

他にご意見はございませんか。

(佃委員)

国では「みどり認定」が持続可能な施策として進められている。ソルゴーをすき込み、堆肥等に活用することで、みどり認定されることになっているが、こういった環境にやさしい、持続的可能な農業を行っていることが今後、評価の対象にはならないのか。

(都築農村振興部長)

事後評価は、過去に作った事業計画に対して評価するものですが、今後、新しく国営の事業計画を作成するときは、みどりの食料システム戦略に沿った取組を事業計画に盛り込むことになっています。今後の事後評価の項目としても、対象となることが想定されます。

(佃委員)

分かりました。

(河口委員長代理)

他にご意見はございませんか。

(豊田委員)

生き物調査結果について、汐止堰の上流では、変化はなかったということでよいか。

(事務局)

はい。

(豊田委員)

生き物観察会で観察された生物は、事業実施前と事業実施後に変化はなかったということによいか。

(事務局)

事業実施前では、配布資料の魚類が確認されており、実施後についてもそれぞれの生き物調査でも魚類を確認しています。

(豊田委員)

汐止堰の上流でも確認されたということか。

(事務局)

そのとおりです。

(豊田委員)

分かりました。

(河口委員長代理)

他にご意見はございませんか。

(駄田井委員)

水稻の品質が向上した分を単価に反映できないかと質問したのは、米の価格が全国的に下がっており、事業実施後では、例えば30%下がっているところを、事業実施地区では下落幅を10%に抑えられているなど評価できないかと思ったから。生産コスト削減によって評価している。

それと、資料2-2の39ページの小麦の単価が、平成16年143円から、令和4年では37円になっているのはなぜか。

(中国調査管理事務所)

平成16年の小麦の単価は、国の買取制度による価格であり、令和4年は、この制度がなくなっており、自由取引による単価となっています。

(駄田井委員)

分かりました。

(河口委員長代理)

全体を通して、ご質問等はありませんか。

(駄田井委員・佃委員・豊田委員)

ありません。

(河口委員長代理)

それでは、次に議事次第の5「技術検討会の意見取りまとめ」を行います。しばらく時間が必要となりますので、議論の時間を30分ほどいただいて、議事を再開したいと思います。

(事務局)

それでは、技術検討会委員以外の皆様は、いったんご退席をお願いいたします。

－ 技術検討会の意見取りまとめ －

※ 意見取りまとめ後、事業管理委員会委員着席。

(河口委員長代理)

それでは、議事を再開したいと思います。技術検討会の意見取りまとめについて、読み上げて提示させていただきます。

－ 技術検討会の意見（提示） －

(河口委員長代理)

以上ですべての議事を終了しました。それでは進行を事務局にお返しします。

(事務局)

河口委員長代理、ありがとうございました。また委員の皆様におかれましても、ご審議いただきましてありがとうございました。

本日いただきました技術検討会の意見を踏まえて精査した評価書案につきましては、7月下旬に局内手続きを踏まえ、農政局長名で本省の方へ報告いたします。なお、技術検討会の議事内容につきましては、各委員のご確認をいただいた上で公表することとなります。

本省報告後も、本省では全国の対象地区と併せて審査が続きます。さらに指摘があった場合は修正を行うこともあります。そのため、簡易な文書の整理等につきましては、事務局に一任いただきまして、必要に応じて委員長に確認させていただくとともに、委員の皆様にご諮る必要があると判断された場合はご連絡いたしまして、ご相談させていただくことをご承知おきいただければと思います。

それでは、閉会にあたりまして、中国四国農政局事業管理委員会委員長の都築よりご挨拶申し上げます。

(都築農村振興部長)

— 都築農村振興部長挨拶 —

(事務局)

以上をもちまして、令和5年度中国四国農政局技術検討会を閉会させていただきます。本日はありがとうございました。

(参考) 中国四国農政局技術検討会の概要

1 日 時

令和5年7月14日(金) 13:00～15:30(再評価含む)

2 場 所

岡山地方合同庁舎1階 土地改良技術事務所研修室

3 出席者

【中国四国農政局技術検討会】

河 口 洋 一	国立大学法人徳島大学大学院社会産業理工学研究部 准教授
駄田井 久	国立大学法人岡山大学グローバル人材育成院 准教授
佃 俊 子	東讃地区生活研究グループ連絡協議会 会長
豊 田 知 世	公立大学法人島根県立大学地域政策学部地域政策学科 准教授

【中国四国農政局国営等事業管理委員会】

都 築	慶 剛	農村振興部長
諸 岡	弘 文	地方参事官
愛 宕	徳 行	農村振興部水利整備課長
野 田	英 亨	中国土地改良調査管理事務所長

【事務局】

川 嶋	等	農村振興部土地改良管理課長
山 本	竜太郎	農村振興部土地改良管理課農政調整官
嶽	靖 行	中国土地改良調査管理事務所調査課長

4 提出資料

- ・議事次第
- ・出席者名簿

【事後評価 斐伊川沿岸地区】

- ・中国四国農政局技術検討会（第3回）議事録（案）
- ・資料2-1 国営かんがい排水事業「斐伊川沿岸地区」事後評価結果書（案）
- ・資料2-2 国営かんがい排水事業「斐伊川沿岸地区」事後評価結果基礎資料（案）
- ・資料2-3 国営かんがい排水事業「斐伊川沿岸地区」事業の効用に関する説明資料（案）
- ・資料2-4 地区概要説明資料